

Ⅰ 調査の概要

Ⅰ-Ⅰ 調査実施方法等の概要

Ⅰ-Ⅰ-Ⅰ 調査の目的

人口減少や働き手不足に直面する鹿児島県においては、活性化に向けて地域外の協力を得ることがますます重要となっている。令和４年９月県議会における鹿児島県の答弁によると、県人口の１５８万人に対し、２１３万人が県内に本籍を置いており、この差５５万人のほとんどは県出身者とみられる^１。課題が深刻化する地域コミュニティ再生のため、県人会や同窓会といったさまざまな同郷組織（以下適宜、同郷諸団体とする）の実態を把握し、今後の関係人口の創出・拡大につなげる施策立案の基礎資料を得ることを目的とする。

Ⅰ-Ⅰ-Ⅱ 調査の仕様

（Ⅰ）同郷諸団体の定義

いわゆる高度成長期の「集団就職」で首都圏、関西圏、九州北部圏といった産業地帯に流入した鹿児島県出身者は多数にのぼる。加えて、その出身者の地縁血縁を媒介とした連鎖的移住で上記３地帯に移り住んでいった子弟ら地縁血縁者も多数存在する。その結果、同郷ネットワークや地縁的関係の維持・生成を契機として全国的に形成されたのが「都市同郷諸団体」とされる。その後も出身者らやその縁者の新たな加入などで、同郷諸団体は現在も活動を続け、郷土と都市圏を結ぶ人的ネットワークの懸け橋となっている。他方、一言で同郷諸団体といっても、その実態は、旧市町村単位や集落単位で結成される同郷会、出身高校・大学別に組織される同窓会、加入者の現住所を基礎にした県人会支部、元在勤者でつくる同好的な組織など、細分化された重層的な集合体といえる。

そこで本調査では、鰹坂（平成１７年）^２や、鰹坂が行った全国市区町村調査（平成７年～平成９年）などの先行研究をもとに、事業委託者である鹿児島県総合政策部地域政策課（以下適宜、委託者）と協議の上で、同郷諸団体を下記のとおり定義した。

- ① 加入者の出身地別に旧行政市町村や集落、現市町村を単位とする「同郷会」
- ② 加入者の現住所をもとにした組織「現住所会」
- ③ 卒業学校別の「同窓会」
- ④ 同好・趣味・勤務経験等を縁とした「同好・職場会」
- ⑤ その他に分類する「その他」

^１県人口移動調査と法務省の戸籍統計（ともに令和３年３月末時点）に基づく。令和４年９月２３日付け南日本新聞朝刊６ページ（本報告書１３４ページに紙面を転載）

^２鰹坂学（同志社大学社会学部教授＝当時）は平成７年～平成９年、全国の町村役場に対してその出身者が移住先の都市で形成している同郷諸団体（同郷会）についての調査を実施。

(2) 調査地域、調査対象、調査対象数

調査対象は、国内にある鹿児島県ゆかりの同郷諸団体等の代表者及び加入者及びその家族とした。特に、委託者である鹿児島県の出先機関である東京、大阪、福岡の各事務所が把握している団体の協力を仰ぐこととしたが、受託事業者である株式会社南日本新聞社（以下、適宜受託者）のホームページやデジタル媒体を利用して周知告知したことから、3地域以外に所在する同郷諸団体を除外はしていない。

同郷諸団体の歴史は古く、広くは海外まで存在しており、実態はなお不透明であり、調査対象数の設定は困難と考えられる。

(3) 実施方法と調査期間

調査は、調査票（アンケート用紙）形式及びQRコードを付した調査票案内チラシを、各同郷諸団体の会合に持参又は託送して配布した。このうち、加入者向け及び加入者家族向けに先行して行った代表者向けアンケートの調査票は、代表者若しくは同事務局の存在を把握している鹿児島県内の各市町村に郵送を依頼した（郵送費は受託者負担）。このほか、受託者である南日本新聞社及び委託者の鹿児島県のホームページや、XやLINEといったデジタル媒体を活用して調査への協力を依頼した。

期間は当初、令和6年7月13日～11月30日までを予定していたが、回収数を確保する観点から、年末にかけて開催される同窓会定例会や同郷諸団体の会合等に合わせて、12月末までとした。

表 1-1-2-(3)-1 受託者において調査票を配布した会合と枚数

開催日	会合名	調査票配布枚数
【関東】		
令和6年7月20日	関東鹿児島県人会連合会納涼会	200
令和6年7月20日	千葉県人会	70
令和6年7月20日	北薩ふるさと互会	30
令和6年7月20日	川内商工高校同窓会	40
令和6年7月20日	関東徳之島会	60
令和6年7月21日	関東甲南同窓会	250
令和6年7月21日	東京名瀬会	120
令和6年7月28日	南さつま県人会	170
令和6年8月25日	阿久根会・役員会	22
令和6年9月16日	東京喜界会総会・芸能祭	250
令和6年9月23日	関東天城町会	150
令和6年9月28日	関東串良会総会	100
令和6年9月28日	加治木工業高等学校同窓会関東支部総会	70
令和6年9月28日	札幌三州会	40
令和6年9月28日	出水工業高校鶴水会	40
令和6年9月29日	東京龍郷会総会・懇親会	120
令和6年9月29日	第26回薩摩隼人会総会・懇親会	75
令和6年10月6日	東京笠利会	150
令和6年10月13日	関東知覧会総会・懇親会	150
令和6年10月14日	東京高尾野会総会	120
令和6年10月19日	第8回関東始良市ふるさと会総会・懇親会	90
令和6年10月20日	関東枕崎会	120
令和6年10月26日	関東松元会	40
令和6年10月26日	関東頴娃会総会・懇親会	70
令和6年10月26日	東京溝辺会（みぞべ）	25
令和6年10月26日	鹿児島高等学校関東同窓会	100
令和6年10月27日	関東ふるさと出水会総会・懇親会	120
令和6年11月2日	山川鶴郷会のつどい	55
令和6年11月9日	伊佐市県人会（関東伊佐会）	130
令和6年11月10日	東京東郷会	75
令和6年11月10日	関東南大隅会	110
令和6年11月10日	関東いちき串木野市民会	110
令和6年11月16日	関東中種子会総会・懇親会	80
令和6年11月16日	第47回わかみこ会	90
令和6年11月16日	鹿児島高専同窓会	65
令和6年11月16日	関東トカラふるさと会	40

令和6年11月17日	関東鹿屋会総会・懇親会	150
令和6年11月17日	大田区鹿児島県人会	60
令和6年11月17日	関東長島会	180
令和6年11月23日	東京名瀬下方会	40
令和6年11月23日	鹿実千葉よかにせ会	35
令和6年11月24日	関東与論会	100
令和6年11月24日	関東屋久島会第17回定期総会・懇親会	80
令和6年12月21日	関東鹿児島県人会連合会主催セミナー 歴史トークショー&忘年会	100
	関東エリア合計	4292

【関西】

令和6年7月13日	鹿児島県関西県人会総連合会年次総会	70
令和6年7月13日	同懇親会	150
令和6年7月26日	鹿児島県関西県人会総連合会役員会	30
令和6年7月28日	同総会・懇親会	60
令和6年8月11日	奄美群島高校連絡会	50
令和6年9月8日	奈良鹿児島県人会	70
令和6年9月29日	関西かごしまファンデー 役員会	115
令和6年10月13日	高校同窓会関西連合	100
令和6年10月19日	関西玉龍同窓会	40
	関西エリア合計	685

【九州】

令和6年9月23日	全国鹿児島県人会総会（鹿児島市開催）	40
令和6年11月28日	福岡南洲会 秋季懇親会	85
	九州エリア合計	125

総計 5102

なお福岡エリアでは、同エリアの各同郷諸団体関係者が集まる鹿児島県人会・福岡南洲会夏季懇親会の開催が令和6年8月29日に予定されていたが、台風10号接近により中止となった。このため、同エリアに所在する同郷諸団体の年間計画や定例会合の把握が困難となり、調査票の配布数が限定的となった。

表 1-1-2-(3)-2 鹿児島県内各市町村が把握している同郷諸団体の一覧

担当市町村	名称	連絡手段
始良市	関東始良市ふるさと会	電話, メール
	関西始良市ふるさと会	電話, メール
	東海始良ふるさと会	電話, メール
阿久根市	関東阿久根会	郵送, 電話
	近畿地区阿久根会	郵送, 電話
	関西三笠会	郵送, 電話
	東海地区阿久根会	郵送, 電話
天城町	関東徳州会	郵送, 電話, メール
	関東天城町会	郵送, 電話, メール
	関西徳州会	郵送, 電話, メール
	関西天城町連合会	郵送, 電話, メール
奄美市	東北奄美会	郵送, 電話
	東京奄美会	郵送, 電話
	神奈川奄美会	郵送, 電話
	中部奄美会	郵送, 電話
	関西奄美会	郵送, 電話
	神戸奄美会	郵送, 電話
	広島県奄美会	郵送, 電話
	福岡奄美会	郵送, 電話
	そてつ会	郵送, 電話
伊佐市	関東伊佐会	郵送, 電話, メール
	関西伊佐の会	郵送, 電話, メール
	北部九州・伊佐ふるさと会	電話, メール
	北九州伊佐市会	郵送, 電話
	熊本伊佐会	電話, メール
	東京大口高校同窓会	メール
	大口高等学校関西支部同窓会	メール
	東海伊佐会	郵送, 電話, メール
出水市	出水望郷の会	電話, メール
	関東ふるさと出水会	電話, メール
	東京高尾野会	電話, メール
	東京野田会	電話, メール
	関西出水会	電話, メール
	福岡・出水交流会	電話, メール
伊仙町	関東伊仙町会	FAX, 電話
	関西伊仙町連合会	FAX, 電話

いちき串木野市	関東串木野市民会	郵送, 電話
	関東市来会	郵送
	関東地区串木野高校同窓会	電話, メール
	関西市来会	郵送, 電話
	関西いちき串木野会	郵送
指宿市	関西かいもん会	郵送, 電話
	近畿指宿会	郵送, 電話
	関東かいもん会	郵送, 電話
	関東指宿会	郵送, 電話
	山川鶴郷会	郵送, 電話
字検村	関東字検村会	郵送, FAX, 電話, LINE
	関西字検村会	郵送, FAX, 電話, LINE
	北部九州字検村会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
大崎町	関東大崎会	電話
	近畿大崎会	電話
	東海大崎会	電話
鹿児島市	鹿児島市関東交友会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東東桜島会	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿児島市関東郷土会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東松元会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東桜島会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東吉田会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東喜入会	郵送, FAX, 電話, メール
	東京鶴丸会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東甲南同窓会	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿児島中央高校関東同窓会	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿児島工業高等学校同窓会関東支部	郵送, FAX, 電話, メール
	関東玉龍同窓会	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿商関東同窓会	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿児島女子高校帰厚会関東支部	郵送, FAX, 電話, メール
	鹿児島純心学園・おどり連	郵送, FAX, 電話, メール
	茨城県鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	埼玉県鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	NPOさいたま市鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	所沢市鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	新座市鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	千葉鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	柏地区鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	城東地区鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	板橋区鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	豊島鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	大田区鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	東京世田谷鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話, メール
	湘南南洲会	郵送, FAX, 電話, メール

鹿屋市	関東鹿屋会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東地区吾平会	郵送, FAX, 電話, メール
	関東串良会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西鹿屋会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西串良会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西吾平会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西輝北会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	花岡ぼっけもん会	メール
	三星会	メール
	関東鹿児島県人会	メール
喜界町	関東喜界会	電話, メール
	関西喜界町郷友会	電話, メール
	福岡喜界会	電話, メール
	沖縄喜界郷友会	電話, メール
肝付町	関東肝付会	メール
	関西高山会	メール
霧島市	関西内之浦会	電話
	関西圏霧島市ふるさと会	郵送, FAX, 電話, メール
	首都圏霧島市ふるさと会	郵送, 電話, メール
	関東よっがわ会	郵送, FAX, 電話, メール
	横川町わかみこ会	郵送, FAX, 電話, メール
	東京みぞべ会	郵送, 電話, メール
	薩摩隼人会	郵送, 電話, メール
	関東霧島会	郵送, 電話, メール
	関東国分会	郵送, FAX, 電話
	福岡県霧島市ふるさと会	郵送
	国分高校同窓会桜蔭会	郵送, FAX, 電話, メール
錦江町	近畿田代会	郵送, FAX, 電話, メール
	関西大根占会	郵送, FAX, 電話, メール
	錦江町関東大根占・田代会	郵送, FAX, 電話, メール
薩摩川内市	東京薩摩川内会	郵送, FAX, 電話, メール
	東京榎協会	郵送, 電話, メール
	関東地区高江・久見崎会	郵送, 電話
	東京東郷会	郵送, 電話
	関東入来会	郵送, 電話
	東京鹿島会	郵送, FAX, 電話
	東京隈之城・永利会	郵送, 電話, メール
	関東鹿児島県人会連合会	郵送, FAX, 電話, メール
	近畿薩摩川内会	郵送, FAX, 電話
	福岡さつま川内会	郵送, 電話
	福岡鹿児島県人会・福岡南洲会	郵送, FAX, 電話
	かごしませんで会	郵送, 電話
	岐阜鹿児島県人会	郵送, FAX, 電話

さつま町	関東さつま会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西さつま会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	東京宮之城会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関東求名会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関東永野会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
	関西きらら会	郵送, FAX, 電話, メール, LINE
志布志市	関東志布志市ふるさと会	郵送, FAX, 電話, メール
	関西志布志会	郵送, FAX, 電話, メール
瀬戸内町	東京瀬戸内会	郵送, 電話
	関東古仁屋町会	郵送, 電話
	中部瀬戸内宇検会	郵送, 電話
	関西瀬戸内会	郵送, 電話
	関西古仁屋会	郵送, 電話
	沖縄瀬戸内会	郵送, 電話
	沖縄奄美連合会	郵送, 電話
曾於市	東海地区曾於市会	電話
	関西地区末吉会	電話
	関西弥五郎会	電話, メール
	福岡地区曾於市会	電話, メール
	関東曾於市の会	電話
龍郷町	鹿児島龍郷郷友会	メール
	関西龍郷会	メール
	東京龍郷会	メール
垂水市	関東垂水会	郵送, 電話, メール
	関西垂水会	郵送, 電話, メール
知名町	沖縄沖洲会	郵送, FAX, 電話, メール
	岡山沖洲会	郵送, FAX, 電話
	尼崎沖洲会	郵送, FAX, 電話
	神戸沖洲会	郵送, FAX, 電話, メール
	大阪沖洲会	郵送, FAX, 電話
	愛知沖洲会	郵送, FAX, 電話, メール
	東京沖洲会	郵送, FAX, 電話, メール
徳之島町	関東奄美会	郵送, 電話
十島村	関東トカラ会	電話
	関西トカラ会	電話
長島町	関東ながしま会	郵送, メール
	関西ながしま会	郵送, メール
中種子町	関東中種子会	郵送, 電話
	中部中種子会	郵送, 電話
	近畿中種子会	郵送, 電話
	福岡中種子つまべに会	郵送, 電話

西之表市	関東種子島会	郵送, 電話, メール
	東海西之表会	郵送, 電話, メール
	関西種子島あかおぎ会	郵送, 電話, メール
	種子島北部九州会	郵送, 電話
日置市	関東日吉会	郵送
	関東吉利会	郵送
	関東吹上会	郵送
	永吉を語る会	郵送
	関西吉利会	郵送
	関西鹿児島吹上会	郵送
東串良町	関東・東くしら会	郵送, 電話, メール
	関西・東くしら会	郵送, 電話, メール
枕崎市	関東枕崎会	電話
	近畿枕崎会	電話
	東海枕崎会	電話
南大隅町	関東南大隅会	郵送, 電話, メール, LINE
	関西南大隅会	郵送, 電話, メール, LINE
	佐多郷友会	郵送, 電話, メール
南九州市	関東知覧会	郵送, FAX, 電話
	関東さつま川辺会	郵送, FAX, 電話
	関東穎娃会	郵送, FAX, 電話
	関西知覧愛郷会	郵送, FAX, 電話
	関西川辺会	郵送, FAX, 電話
	関西穎娃会	郵送, FAX, 電話
	東海地区南九州市ふるさと会	郵送, FAX, 電話
南さつま市	南さつま市関東ふるさと会	郵送, 電話, メール
	関西南さつま市ふるさと会	郵送, 電話, メール
	首都圏萬世会	郵送, 電話, メール
	関東久木野・津貫校区会	郵送, 電話, メール
	関東笠沙会	郵送, 電話, メール
	関東坊津会	郵送, 電話
	関東田布施会	郵送, 電話
	関東阿多会	郵送, 電話
	東海笠沙会	郵送, 電話
	近畿萬世倶楽部会	郵送, 電話
南種子町	近畿南種子会	郵送, 電話
	中部南種子会	郵送, 電話
	神戸トンミーの会	郵送, 電話
屋久島町	関東屋久島会	郵送
	関東屋久島永田会	郵送
	関東岳南会	郵送
	東京八幡会事務局	郵送
	東京宮之浦会	郵送
	屋久島を愛する会	郵送

大和村	関東大和会	電話，メール
	関西大和会	電話，メール
	鹿児島大和会	電話，メール
湧水町	関東地区湧水会	郵送，電話，メール
	関西湧水会	郵送，電話，メール
	中部湧水会	郵送，電話，メール
	福岡湧水会	郵送，電話，メール
与論町	与論会	郵送，電話，その他SNS

(4) 有効回答数・回収率

回答は同郷諸団体の代表者、加入者ともに調査票を返送する非オンライン及びスマートフォンやタブレット端末等を使ってのオンラインでそれぞれ回答を受け付けた。加入者家族はオンライン回答のみで受け付けた。

本最終報告書（以下適宜、本報告書）では、令和6年12月23日までに有効回答のあった698件を分析に用いた。内訳は、代表者104件、加入者528件（加入者として答えた代表者含む）、加入者家族66件。

調査票の回収数（非オンライン回答）は318件で、同日までの調査票配布数5,102に対する回収率は6.23%。

オンライン回答総数は1,378件。うち調査対象外の同郷諸団体非加入者及び家族が加入していないと答えた1,046人は無効とした。回答フォームへのアクセス数は3,913で、有効回答332件に対する回収率は8.48%だった。

(5) 調査内容

鰯坂（平成17年）や、鰯坂が行った全国市区町村調査（平成7年～平成9年）などの先行研究を参考に作成したが、いずれの調査も同郷諸団体の実態調査が主であり、加入者の考えや知見を行政施策に生かすための基礎データを得る本調査とは考えを異にする。このため、鹿児島県総合政策部地域政策課との協議の上、独自の質問項目を多数設け、調査内容を決定した。なお、回答者の基本属性等はこれまでの国、鹿児島県等の調査項目や選択肢を基本とした。

(6) 回収率を上げるための方策

回収率を上げるための方策として、回答しやすいアンケート設計や、回答者が途中で離脱しないための心理負担軽減に努めた。回答者には、総額 30 万円に及ぶ鹿児島県の特産品プレゼントをインセンティブとして付与した。

回答者に調査票を直接手渡すケースでは、同郷諸団体の会合に受託者の社員若しくはスタッフが出向き、直接呼びかけを行ったり、兵庫県神戸市で開かれた「関西かごしまファンデー」にブースを出展し直接回収したりした。

近年のインターネット利用や SNS の普及を受け、鹿児島県や南日本新聞社のホームページや公式 LINE といったデジタル媒体を使った告知に努めた。併せて、SNS 投稿拡散でギフトカードプレゼントキャンペーンも実施し、情報発信に努めた。

南日本新聞社ホームページにおけるウェブバナー広告は、ウェブ記事下広告を令和 6 年 8 月 1 日～9 月 17 日に掲出し、表示回数 163,005 回、クリック数 312 回だった。

Instagram は同 8 月 1 日以降、3 回投稿し、表示回数は 3,329 回。X は同 7 月 29 日～11 月 28 日まで 14 回投稿し、総表示回数は 31,359 回で、クリック回数は 645 回。同社登録会員向けメールサービス「みなみレター」で、県外在住の登録者 745 人に依頼メールを令和 6 年 9 月 17 日に 1 回配信し、開封率 43.6%、クリック数は 57 回。LINE の新聞社公式アカウントを活用したダイジェストスポットを令和 6 年 9 月 20 日配信し、4,871PV、クリック数 84 回だった。

このほか、関東及び関西の同郷諸団体代表者らが集まる大規模会合では、参加者に配布される冊子に広告を掲出した。

(7) 本報告書を読む際の注意点

- ・「SA」は単一回答形式 (Single Answer)、「MA」は複数回答形式 (Multiple Answer)、「NA」は数量回答形式 (Numerical Answer) を示している。そのほか適宜「自由記述」形式を用いた。
- ・図・表内の[n=〇〇]はその設問についての有効回答数 (集計対象件数)、[N=〇〇]は母集団となる回答者数をそれぞれ示している。
- ・有意水準は 5 % とする。
- ・回答の比率 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単一回答の設問でも各選択肢の回答に関する数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・回答の比率 (%) は、質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

1-1-3 調査の設問

調査項目は、鹿児島県総合政策部地域政策課と決定した調査内容を網羅するため、設問を設定した。

WEB アンケートはセルフアンケートツール「Questant」を使用して作成した。

【同郷諸団体 代表者票】

問	概要
1	同郷諸団体所属の有無
2	同郷諸団体の形態
3	同郷諸団体の名称
4	同郷諸団体の会員数
5	同郷諸団体の年齢構成
6	同郷諸団体内の連絡手段
7	同郷諸団体内の連絡頻度
8	定期的な役員会の有無
9	定期的な役員会の開催頻度
10	全会員向けの会合の開催有無
11	全会員向けの会合の開催頻度
12	全会員向けの会合の参加率
13	鹿児島ゆかりのイベントへの参加有無
14	参加する鹿児島ゆかりのイベントの名称
15	鹿児島に帰省・訪問しての団体の活動有無
16	鹿児島に帰省・訪問して参加するイベントの名称
17	団体の活動度
18-1	回答者の鹿児島の活性化希望度
18-2	加入者の鹿児島の活性化希望度
18-3	回答者の鹿児島の活性化貢献希望度
18-4	加入者の鹿児島の活性化貢献希望度
19	回答者の年齢
20	回答者の性別
21	回答者の職業
22	回答者の居住地
23	回答者の代表就任歴

【同郷諸団体 加入者票】

問	概要
1	同郷諸団体所属の有無
2	所属団体数
3	積極的に活動に参加する団体の形態
4	鹿児島県との関係性
5	活動の参加頻度
6	鹿児島への帰省・旅行の頻度
7	帰省・旅行を希望する理由等
8	ふるさと納税の経験
9	ふるさと納税の頻度
10-1	鹿児島への帰省・旅行の希望度
10-2	鹿児島の活性化希望度
10-3	鹿児島の活性化貢献希望度
10-4	鹿児島とのつながり希望度
10-5	鹿児島への定住・移住希望度
10-6	鹿児島への帰省・定住推薦度（近親者）
10-7	鹿児島への帰省・定住推薦度（友人）
11	鹿児島への関わり方
12	鹿児島に関する知りたい情報
13	参加を希望する鹿児島県の取り組み
14	関わり方への意見（自由記述）
15	回答者の年齢
16	回答者の性別
17	回答者の職業
18	回答者の団体加入歴
19	回答者の居住地

【同郷諸団体 加入者家族票】

問	概要
1	家族の同郷諸団体所属の有無
2	家族が積極的に活動に参加する団体の形態
3	鹿児島県との関係性
4	鹿児島への帰省・旅行の頻度
5	帰省・旅行を希望する理由等
6	ふるさと納税の経験
7	ふるさと納税の頻度
8-1	鹿児島への帰省・旅行の希望度
8-2	鹿児島の活性化希望度
8-3	鹿児島の活性化貢献希望度
8-4	鹿児島とのつながり希望度
8-5	鹿児島への定住・移住希望度
8-6	鹿児島への帰省・定住推薦度（近親者）
8-7	鹿児島への帰省・定住推薦度（友人）
9	鹿児島への関わり方
10	鹿児島に関する知りたい情報
11	参加を希望する鹿児島県の取り組み
12	関わり方への意見（自由記述）
13	回答者の年齢
14	回答者の性別
15	回答者の職業
16	回答者の居住地

1-2 回答者の基本属性等

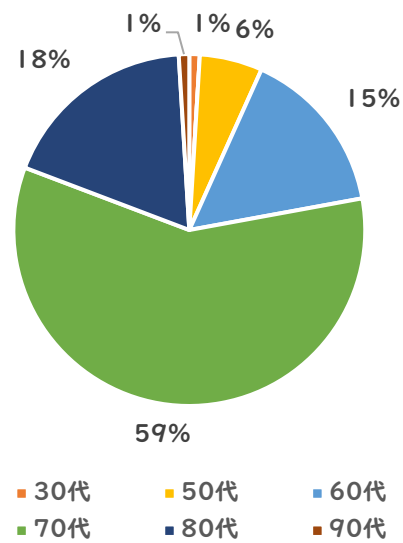
1-2-1 代表者

(1) 代表者の年齢（代表者票 問 19、NA）

回答者の年齢は最年少が39歳、最高齢が90歳だった。104人の平均年齢は73.7歳だった。年齢の正規分布における歪度は-1.2と0以下、劣度は3.2で3以上だったことから、回答者が高齢者層にやや寄っていることが推測される。

図.表 1-2-1-(1) 同郷諸団体代表者の年代構成（n=104）

	年代	
	度数	割合(%)
20代	0	0.0
30代	1	1.0
40代	0	0.0
50代	6	5.8
60代	16	15.4
70代	61	58.7
80代	19	18.3
90代	1	1.0
合計	104	100.0

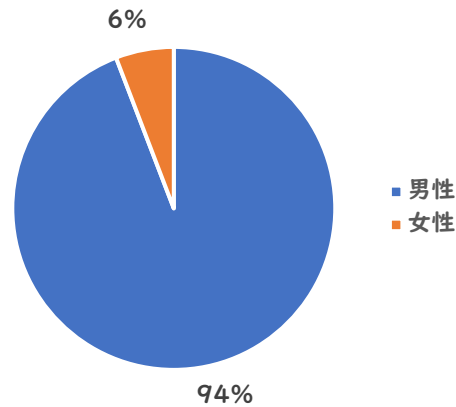


(2) 代表者の性別（代表者票 問 20、SA）

回答者の性別は、男性が94.2%を占めた。

図.表 1-2-1-(2) 同郷諸団体代表者の性別（n=103）

性別		
	度数	割合 (%)
男性	97	94.2
女性	6	5.8
合計	103	100.0

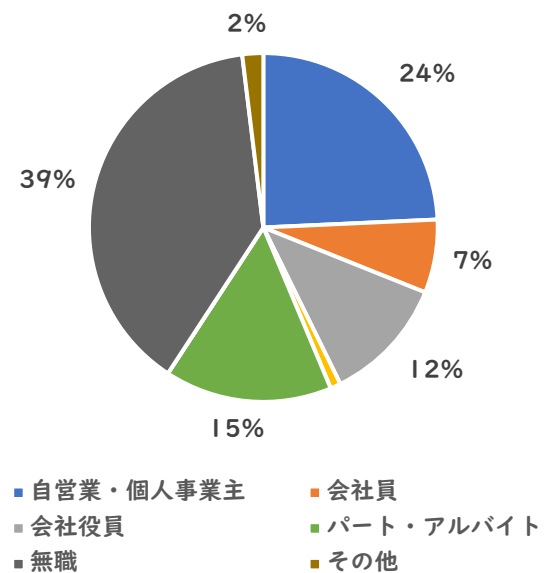


(3) 代表者の職業（代表者票 問 21、SA）

回答者の職業は、無職が約4割を占め、自営業・個人事業主が続いた。

図.表 1-2-1-(3) 同郷諸団体代表者の職業（n=103）

職業		
	度数	割合 (%)
自営業・個人事業主	25	24.3
会社員	7	6.8
会社役員	12	11.7
団体職員	1	1.0
公務員	0	0.0
パート・アルバイト	16	15.5
専業主婦・主婦	0	0.0
学生	0	0.0
無職	40	38.8
その他	2	1.9
合計	103	100.0

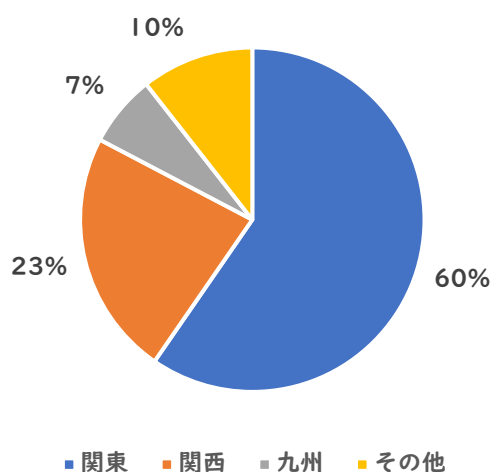


(4) 代表者の居住地（代表者票 問 22、SA）

回答者の居住地は、東京都が最も多く、大阪府、神奈川県の順で続いた。

図.表 1-2-1-(4) 同郷諸団体代表者の居住地（n=104）

居住地		
	度数	割合（％）
東京都	24	23.1
茨城県	2	1.9
千葉県	10	9.6
埼玉県	12	11.5
神奈川県	14	13.5
京都府	1	1.0
大阪府	15	14.4
兵庫県	7	6.7
滋賀県	1	1.0
福岡県	5	4.8
熊本県	1	1.0
鹿児島県	1	1.0
その他	11	10.6
合計	104	100.0



居住地のその他の一覧は次のとおり。

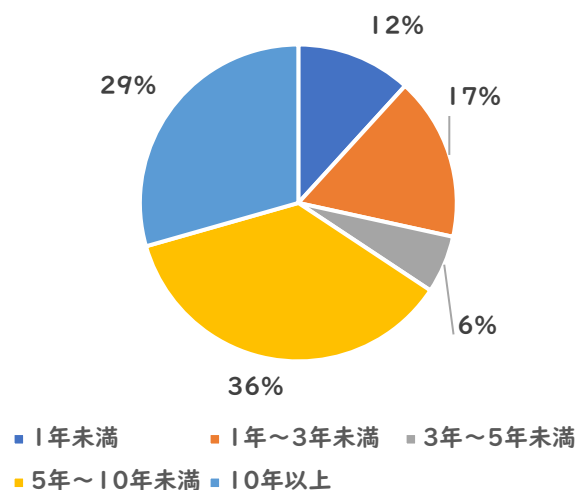
その他の居住地	
	度数
北海道	1
愛知県	6
沖縄県	2

(5) 代表者の代表就任歴（代表者票 問 23、SA）

回答者の団体代表者就任歴は、5 年～10 年未満が 3 割超、10 年以上が 3 割弱で、全体の 6 割強を占めた。

図.表 1-2-1-(5) 同郷諸団体代表者の就任歴（n=102）

代表就任歴		
	度数	割合（％）
1 年未満	12	11.8
1 年～3 年未満	17	16.7
3 年～5 年未満	6	5.9
5 年～10 年未満	37	36.3
10 年以上	30	29.4
合計	102	100.0



回答者の年代と代表就任歴のクロス集計の結果は次のとおり

同郷諸団体代表者の年代と代表就任歴とのクロス表								
	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
1 年未満	1 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 12.5%	6 10.2%	2 10.5%	0 0.0%	55 15.9%
1 年～3 年未満	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	2 12.5%	9 15.3%	3 15.8%	0 0.0%	158 45.7%
3 年～5 年未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	4 6.8%	1 5.3%	0 0.0%	96 27.7%
5 年～10 年未満	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	5 31.3%	24 40.7%	6 31.6%	0 0.0%	37 10.7%
10 年以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	16 27.1%	7 36.8%	1 100.0%	30 29.4%
合計	1 100.0%	0 0.0%	6 100.0%	16 100.0%	59 100.0%	19 100.0%	1 100.0%	346 100.0%

上段は度数、下段は割合。

1-2-2 加入者

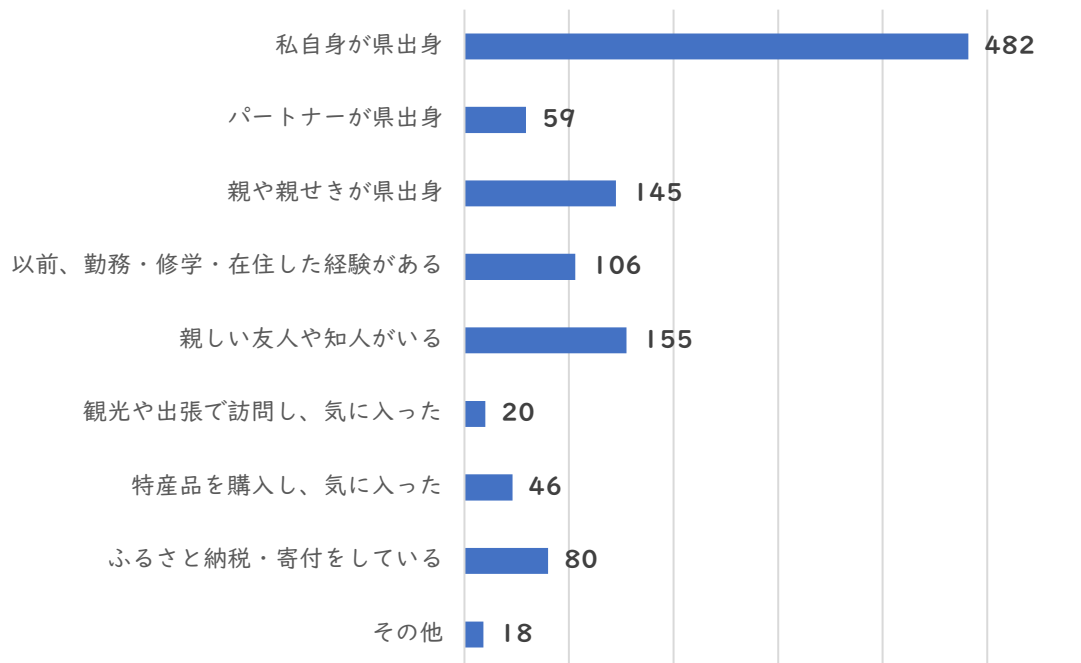
(1) 加入者の鹿児島との関係性（加入者票 問4、MA）

回答者の鹿児島との関係性では、「私自身が鹿児島県出身」が最も多かった。

なお、表の度数横の（）は、私自身が県出身と答えなかった回答者の内数。

図.表 1-2-2-（1） 同郷諸団体加入者の鹿児島県との関係性（N=528）

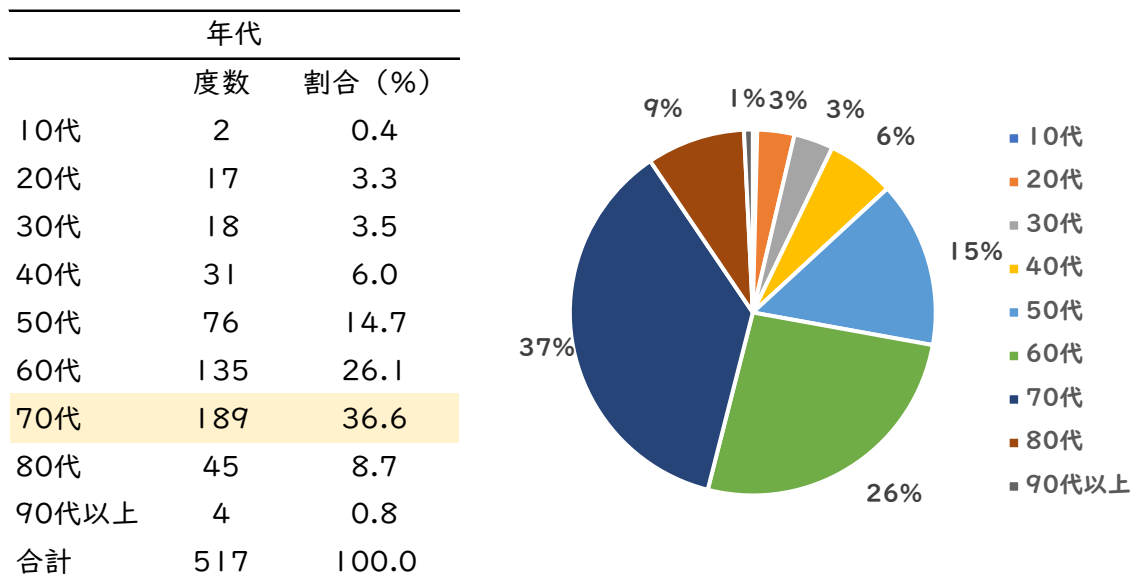
鹿児島県との関係性		
	度数	割合(%)
私自身が県出身	482 (-)	43.4
パートナーが県出身	59 (10)	5.3
親や親せきが県出身	145 (19)	13.1
以前、勤務・修学・在住した経験がある	106 (20)	9.5
親しい友人や知人がいる	155 (20)	14.0
観光や出張で訪問し、気に入った	20 (9)	1.8
特産品を購入し、気に入った	46 (9)	4.1
ふるさと納税・寄付をしている	80 (4)	7.2
その他	18 (7)	1.6
合計	1111 (98)	100.0



(2) 加入者の年齢（加入者票 問 15、NA）

回答者の年齢は最年少が18歳、最高齢が94歳で、517人の平均年齢は65.0歳だった。年齢の正規分布における歪度は-1.0と0より小さく、劣度は0.96で3以下だったことから、回答者年代は中・高齢層に寄っていることが推測される。

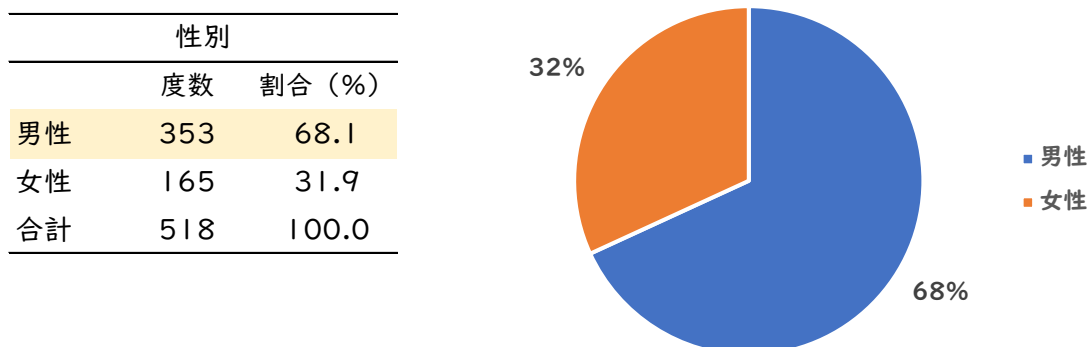
図.表 1-2-2-(2) 同郷諸団体加入者の年代（n=517）



(3) 加入者の性別（加入者票 問 16、SA）

回答者の性別は男性が68%を占めた。

図.表 1-2-2-(3) 同郷諸団体加入者の性別（n=518）

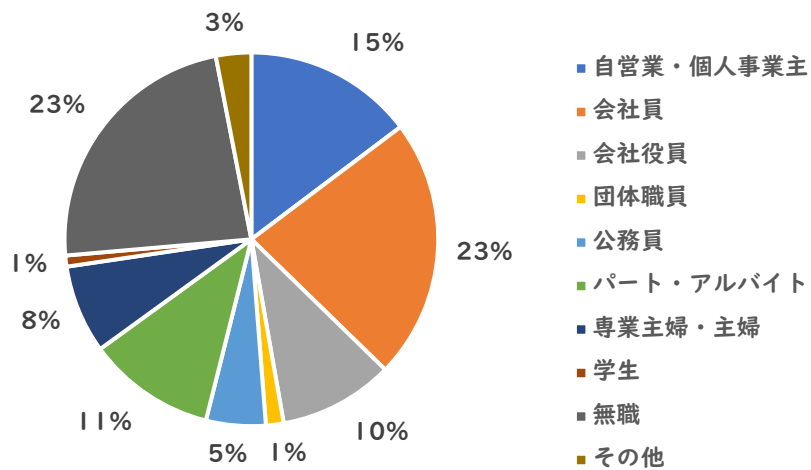


(4) 加入者の職業（加入者票 問 17、SA）

回答者の職業は、無職が最も多く、会社員、自営業・個人事業主がそれぞれ続いた。

図.表 1-2-2-(4) 同郷諸団体加入者の職業（n=523）

職業		
	度数	割合（％）
自営業・個人事業主	77	14.7
会社員	118	22.6
会社役員	52	9.9
団体職員	8	1.5
公務員	27	5.2
パート・アルバイト	58	11.1
専業主婦・主婦	40	7.6
学生	5	1.0
無職	122	23.3
その他	16	3.1
合計	523	100.0



(5) 加入者の居住地（加入者票 問 19、SA）

回答者の居住地は、東京が最も多かった。その他には、愛知県や静岡県、シンガポール等が含まれていた。

図 1-2-2-(5)-1 同郷諸団体加入者の居住地（n=522）

居住地					
	度数	割合（％）		度数	割合（％）
東京都	143	27.4	滋賀県	2	0.4
茨城県	17	3.3	和歌山県	4	0.8
栃木県	1	0.2	福岡県	23	4.4
千葉県	40	7.7	佐賀県	1	0.2
埼玉県	43	8.2	熊本県	6	1.1
神奈川県	63	12.1	大分県	1	0.2
京都府	11	2.1	宮崎県	2	0.4
大阪府	63	12.1	鹿児島県	16	3.1
兵庫県	51	9.8	その他	28	5.4
奈良県	7	1.3			
			合計	522	100.0

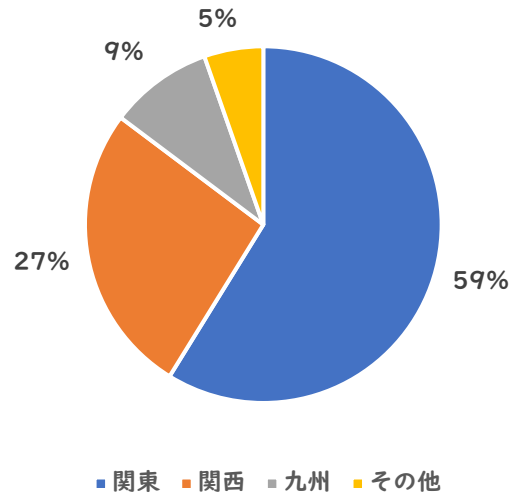
居住地のその他の一覧は次のとおり。

その他の居住地	
	度数
愛知県	10
広島県	3
静岡県	3
北海道	3
鳥取県	2
山梨県	1
福井県	1
沖縄県	1
愛媛県	1
石川県	1
宮城県	1
クアラルンプール	1
シンガポール	1

居住エリア別では、関東が最も多かった。

図.表 1-2-2-(5)-2 同郷諸団体加入者の居住エリア (n=522)

居住エリア		
	度数	割合 (%)
関東	307	58.8
関西	138	26.4
九州	49	9.4
その他	28	5.4
合計	522	100.0



(6) 加入者が所属する団体の数（加入者票 問 2、NA）

回答者が所属する鹿児島県ゆかりの同郷諸団体の数は、最小 1、最大 50 だった。1 団体が最も多く 280 で、2 団体が 117、3 団体 74 だった。平均は 1.9 団体だった。

表 1-2-2-(6) 同郷諸団体加入者の所属団体数 (n=517)

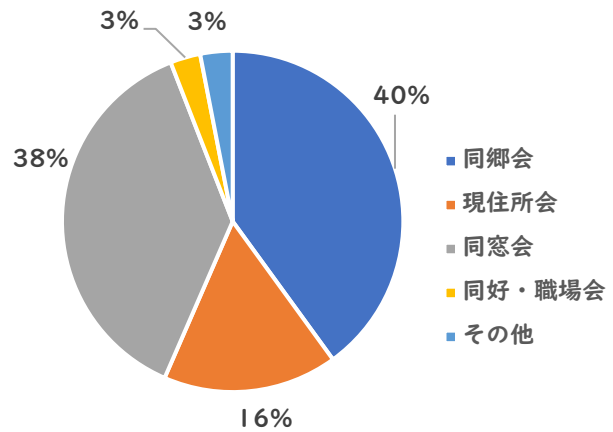
所属する団体数		
	度数	割合 (%)
1	280	54.2
2	117	22.6
3	74	14.3
4	22	4.3
5	15	2.9
6	5	1.0
7	1	0.2
9	1	0.2
16	1	0.2
50	1	0.2
合計	517	100.0

(7) 加入者が所属する団体の形態（加入者票 問3、SA）

回答者の所属する同郷諸団体の形態は、同郷会が最も多かった。

図.表 1-2-2-(7) 同郷諸団体加入者の所属団体の形態（n=490）

加入団体の形態		
	度数	割合（％）
同郷会	196	40.0
現住所会	81	16.5
同窓会	184	37.6
同好・職場会	14	2.9
その他	15	3.1
合計	490	100.0

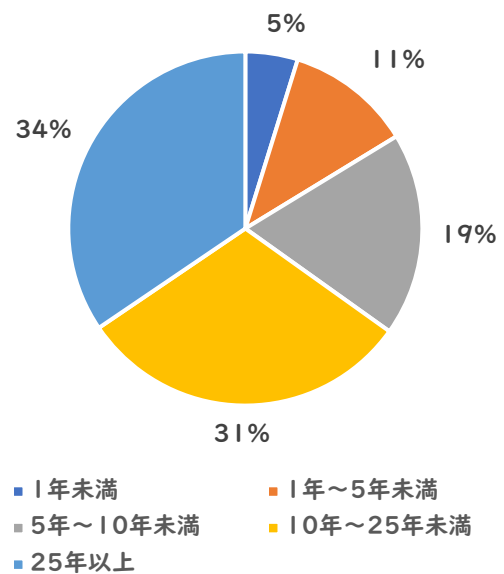


(8) 加入者の団体加入歴（加入者票 問18、SA）

回答者の同郷諸団体への加入歴は、25年以上が最も多かった。

図.表 1-2-2-(8) 同郷諸団体加入者の加入歴（n=522）

団体加入歴		
	度数	割合（％）
1年未満	25	4.8
1年～5年未満	60	11.5
5年～10年未満	97	18.6
10年～25年未満	160	30.7
25年以上	180	34.5
合計	522	100.0



1-2-3 加入者家族

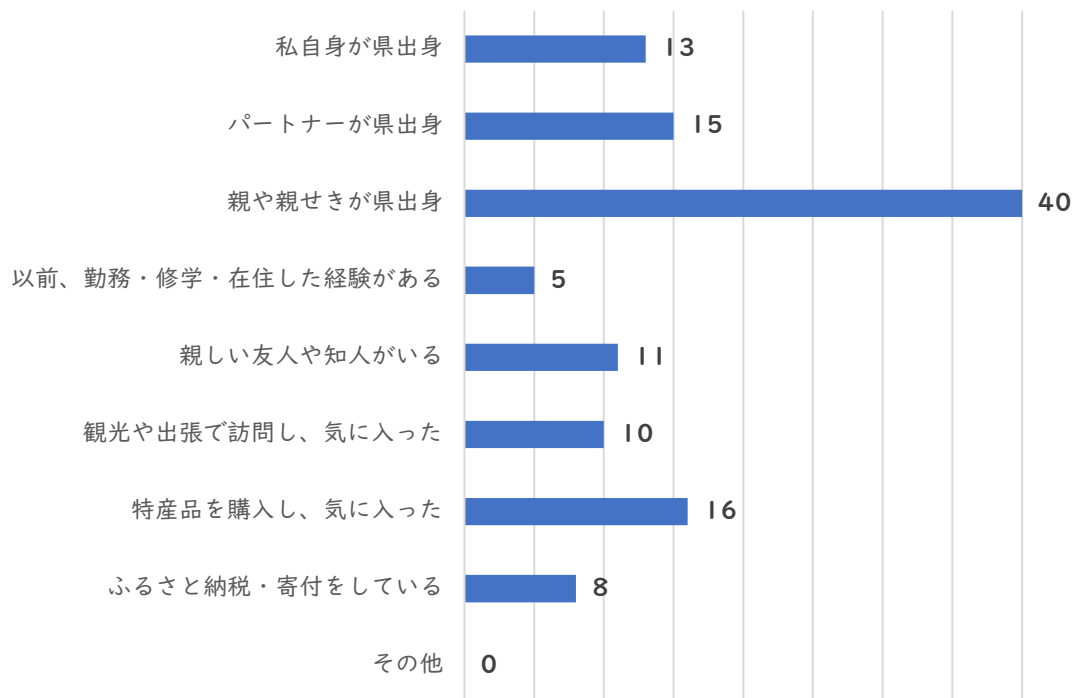
(1) 加入者家族の鹿児島との関係性（加入者家族票 問3、MA）

回答者の鹿児島との関係性では、「親や親せきが県出身」が最も多かった。

なお、表の度数横の（）は、私自身が県出身と答えなかった回答者の内数。

図.表 1-2-3-（1） 同郷諸団体加入者家族の鹿児島県との関係性（n=118）

鹿児島県との関係性		
	度数	割合(%)
私自身が県出身	13（-）	11.0
パートナーが県出身	15（12）	12.7
親や親せきが県出身	40（35）	33.9
以前、勤務・修学・在住した経験がある	5（1）	4.2
親しい友人や知人がいる	11（8）	9.3
観光や出張で訪問し、気に入った	10（10）	8.5
特産品を購入し、気に入った	16（16）	13.6
ふるさと納税・寄付をしている	8（5）	6.8
その他	0（0）	0.0
合計	118（87）	100.0

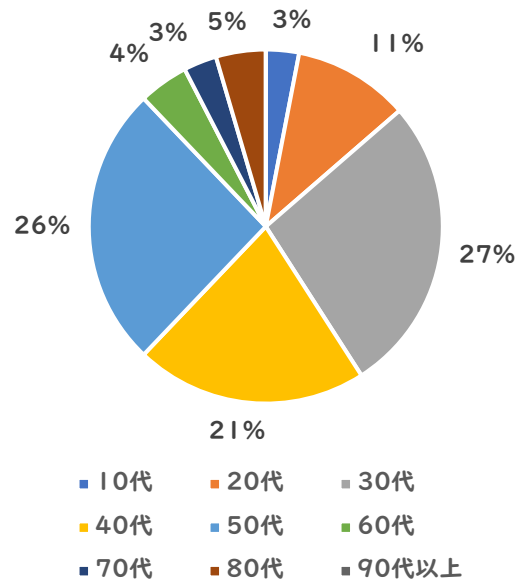


(2) 加入者家族の年齢（加入者家族票 問 13、NA）

回答者の年齢は最年少が 17 歳、最高齢が 86 歳で、66 人の平均年齢は 44.8 歳だった。年齢の正規分布における歪度は 0.69 と 0 より大きく、劣度は 0.75 で 3 以下だったことから、回答者年代は若・中高年層によっていることが推測される。

図.表 1-2-3-(2) 同郷諸団体加入者家族の年代（n = 66）

	年代	
	度数	割合（％）
10代	2	3.0
20代	7	10.6
30代	18	27.3
40代	14	21.2
50代	17	25.8
60代	3	4.5
70代	2	3.0
80代	3	4.5
90代以上	0	0.0
合計	66	100.0

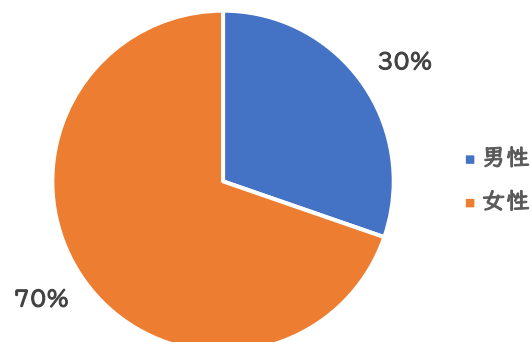


(3) 加入者家族の性別（加入者家族票 問 14、SA）

回答者の性別は女性が 69.7% を占めた。

図.表 1-2-3-(3) 同郷諸団体加入者家族の性別（n=66）

	性別	
	度数	割合（％）
男性	20	30.3
女性	46	69.7
合計	66	100.0

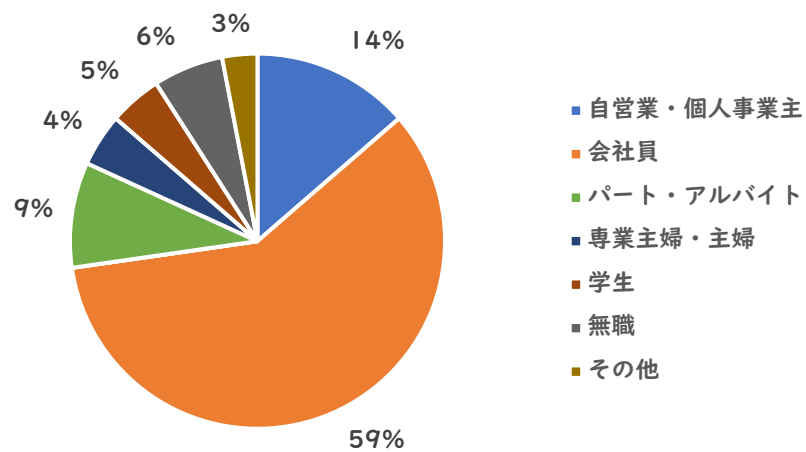


(4) 加入者家族の職業（加入者家族票 問 15、SA）

回答者の職業は、会社員が最も多く、自営業・個人事業主が続いた。

図.表 1-2-3-(4) 同郷諸団体加入者家族の職業（n=66）

職業		
	度数	割合（％）
自営業・個人事業主	9	13.6
会社員	39	59.1
会社役員	0	0.0
団体職員	0	0.0
公務員	0	0.0
パート・アルバイト	6	9.1
専業主婦・主婦	3	4.5
学生	3	4.5
無職	4	6.1
その他	2	3.0
合計	66	100.0



(5) 加入者家族の居住地（加入者家族票 問16、SA）

回答者の居住地は、大阪府が最も多かった。

主たる調査対象とした関東、関西、福岡以外の「その他」は、長野県と愛知県がそれぞれ3、三重県2、宮城、岐阜、岡山、広島、沖縄の5県がそれぞれ1だった。

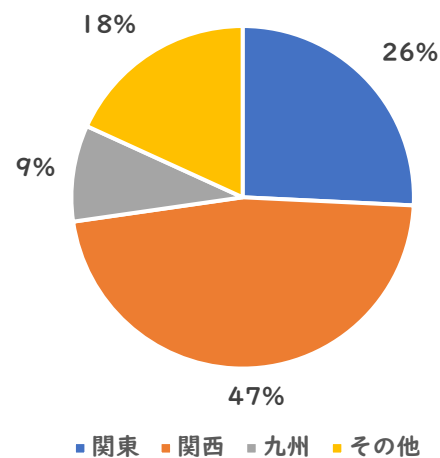
居住エリア別では、関西が最も多かった。

表 1-2-3-(5)-1 同郷諸団体加入者家族の居住地（n=66）

居住地					
	度数	割合（％）		度数	割合（％）
東京都	6	9.1	兵庫県	12	18.2
茨城県	1	1.5	奈良県	1	1.5
栃木県	1	1.5	和歌山県	1	1.5
千葉県	2	3.0	福岡県	2	3.0
埼玉県	4	6.1	熊本県	1	1.5
神奈川県	3	4.5	鹿児島県	3	4.5
京都府	3	4.5	その他	12	18.2
大阪府	14	21.2			
			合計	66	100.0

図.表 1-2-3-(5)-2 同郷諸団体加入者家族の居住エリア（n=66）

居住エリア		
	度数	割合（％）
関東	17	25.8
関西	31	47.0
九州	6	9.1
その他	12	18.2
合計	66	100.0



(6) 加入者家族が所属する団体の形態（加入者家族票 問2、SA）

回答者の家族が所属する同郷諸団体の形態は、同窓会が最も多かった。

図.表 1-2-3-(6) 同郷諸団体加入者の所属団体の形態（n=66）

加入団体の形態		
	度数	割合（％）
同郷会	14	21.2
現住所会	19	28.8
同窓会	21	31.8
同好・職場会	9	13.6
その他	3	4.5
合計	66	100.0

